

# 複式3・4年 国語科学習指導案

3年 男子2人 女子1人 計3人  
4年 男子3人 女子5人 計8人  
指 導 者 國 生 利 香

- 1 単 元 3年 場面の様子をそうぞうしながら読もう (教材「ちいちゃんのかげおくり」 光村3年下)  
4年 場面をくらべて読もう (教材「一つの花」 光村4年下)

## 2 単元について

### (1) 単元の位置とねらい

(第3学年)

本学級の子どもたちは、これまで「きつつきの商売」や「三年とうげ」で、場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読んだり、様子が分かるように工夫して声に出して読んだりする学習をしてきている。また、作品のおもしろさについて自分の考えと友達の考えを比べ、共通点や相違点を見付けながら話し合いをする活動も行っている。

そこで、本単元では、会話や動作を表す言葉をもとにしながら場面の移り変わりや情景を想像しながら読み進め、さらに二つのかげおくりを比較することで、家族の絆や作者の願いを読み取ることをねらいとしている。また、自分が一番心を打たれた場面を選び、なぜその箇所を選んだのか理由を伝え合いながら音読発表会を開くこともねらいとしている。

なお、この学習は、「モチモチの木」で場面の移り変わりや情景を叙述をもとに想像しながら読んだり、読み取った内容について自分の考えをまとめ発表し合ったりする学習へと発展する。

(第4学年)

本学級の子どもたちは、これまで「三つのお願い」や「白いぼうし」で色やにおいなど、場面や情景を想像させる言葉を手がかりにしながら読み取ったり、場面の移り変わりの様子を想像しながら読んだりする学習をしてきている。また、作品から受けるおもしろさについて、友達と受け取り方の違いに気付き、友達と話し合いをする活動も行っている。

そこで、本単元では、登場人物の様子と場面の様子を作品の中の大事な言葉に気を付けて想像しながら読み進め、さらに親の子を思う深い愛情や題名にこめられた作者の思いについて読み取ることをねらいとしている。また、読み深めた作品の感想や自分なりの思いを、ゆみ子への手紙という形式でまとめ、それを友達と読み合うこともねらいとしている。

なお、この学習は、「ごんぎつね」で場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読んだり、読み取った内容について自分の考えをまとめ発表し合ったりする学習へと発展する。

### (2) 教材の価値と基本的な指導の立場

この教材は、「かげおくり」という遊びを題材にしながら、幼いちいちゃんの様子や戦時下の状況を描いた作品である。戦争の悲惨さや戦争反対を直接表現している作品ではないが、情景や人物の言動が生き生きと描かれているので、子どもたちはちいちゃんに感情移入しやすく、場面の移り変わりや情景を考えながら読み進めることができる。主人公のちいちゃんの年頃を振り返りながら、戦争のつらさや平和の重みを実感させるのに適した作品といえる。また、二つの「かげおくり」を読み比べることで、家族の絆・平和の大切さや命の尊さを感じ取ることができる。

そこで、本単元(本教材)では、ちいちゃんの様子や戦争中の様子を叙述に即して読み取らせ、戦争のつらさや平和の大切さを十分考えさせ、話し合わせていきたい。そのために、登場人物の会話や動作に着目させ、場面の様子や登場人物の情景を想像しながら読み取ることができるようになりたい。

さらに、読み取った内容について、心に残ったことや自分なりに考えたことなどをまとめ、友達と感想を交流しながら、それぞれの感じ方に違いがあることに気付かせ、自分の考えを深めさせていきたい。

この教材は、戦時下で「一つだけちょうだい」という言葉を最初に覚えた主人公が、出征による父親との別れに負けずに明るく成長し、幸せに暮らしている様子を描いた作品である。日本では戦争体験が急速に風化してきているが、子どもたちは主人公であるゆみ子の戦中と戦後を通して、同年代の人物の戦争体験に迫ることができる。そして、親子が引き離される戦争の悲惨さや平和の重みを実感することができる。さらに、ゆみ子を想う父母の愛情の深さを想像することで、コスモスの花に込められた作者の願いを読み取ることができる。

そこで、本単元(本教材)では、場面を比べて読むために、戦中と戦後の比較はもちろん、父母のゆみ子に対する思いや願いを叙述に即して読み進めるようにしたい。そのために、作品の中の大事な言葉に着目させ、場面の移り変わりや登場人物の様子を想像しながら読み取ることができるようになりたい。

さらに、題名にこめられた作者の思いについて、自分の考えをまとめ、友達と感想を交流しながら、受け取り方に違いがあることに気付かせ、自分の考えを深めさせていきたい。

## (3) 子どもの実態

第3学年（調査人数：3人）	第4学年（調査人数：8人）
<p>1 初発の感想（ちいちゃんのかげおくり）</p> <p>戦争は人の命をうばい、悲しい運命にしてしまうんだな。 ちいちゃんはまだちっちゃいのに、亡くなったからかわいそう。 戦争があって、ちいちゃんは走っているのに、なんでお兄ちゃんがおんぶされているのだろう。</p>	<p>1 初発の感想（一つの花）</p> <p>お父さんの「一つの花だから大切にするんだよー。」というところが心に残った。 お父さんのくれた一つだけの花（コスモス）がゆみ子の宝物になってくれたらいいな。 お父さんからもらったコスモスを大切にしていたからよかった。 ゆみ子はどうして花をわたされたときに喜んでいただろう。 ゆみ子はなぜ「一つだけ」という言葉を覚えたのだろう。 ゆみ子がお父さんのことを忘れていたところがかわいそう（2人） ゆみ子がかawaiiそうだと思った。</p>
<p>2 発表に関すること</p> <p>自分の考えを発表できるか。 はい（3） いいえ（0） 理由をつけて発表できるか。 はい（2） いいえ（1） ボードなどを見ないで発表できるか。 はい（2） いいえ（1） みんなの考えを仲間分けできるか。 はい（3） いいえ（0）</p>	<p>2 発表に関すること</p> <p>自分の考えを発表できるか。 はい（8） いいえ（0） 理由をつけて発表できるか。 はい（3） いいえ（5） ボードなどを見ないで発表できるか。 はい（3） いいえ（5） みんなの考えを仲間分けできるか。 はい（6） いいえ（2）</p>
<p>3 戦争に関すること</p> <p>戦争を知っているか。 はい（2） いいえ（1） 戦争のイメージはどんなものか。 ・ 町や自然や人の命をなくしてしまうもの ・ こわい ・ 無答</p>	<p>3 戦争に関すること</p> <p>戦争を知っているか。 はい（8） いいえ（0） 戦争のイメージはどんなものか。 ・ 撃ちあいや、戦ったりすること。争い合うこと。（2人） ・ 飛行機や大砲でねらう。飛行機で爆弾を落とす。（2人） ・ みんなが死んでいく。人が亡くなる。（2人） ・ いつ来るか分からないから、こわい。 ・ こわくて悲しい。家族と離ればなれになる。</p>
<p><b>考察</b></p> <p>調査1から、二人はこの教材文の主題にも関わる、戦争によって人の命がうばわれてしまったということに目を向けているが、一人はそこまで至っておらず、読み取りがまだ浅いと言える。この子どもは長文の読み取りを苦手としているので、役割読みなどの音読を多く取り入れながら教材文をしっかりと読み取れるようにしたい。また、二つのかげおくりの場面对比させることにより、家族に会いたいと強く願うちいちゃんの思いを読み取らせたい。調査2から、発表に関しては、意欲的な子どもが多く、理由までつけて発表することができる。しかし、自分の考えはきちんともつことができるが、自分の考えが友達と違ったときに自信をもって発表できない子どももいる。調査3から、戦争に関しては、「知っている」と答えた子どもでも漠然としか理解しておらず、戦争時の様子などはよく分かっていない。また、戦争という言葉を知らない子どももいる。そこで、教材文を読み取る前に、戦争に関する本の読み聞かせをしたり、戦争時の様子が分かる写真などを見せたりして、戦争の悲惨さを感じさせたい。また、教材文の中の戦争に関する語句などは、その都度補足するようにしたい。</p>	<p><b>考察</b></p> <p>調査1から、数名の子どもは父親が一つだけの花をゆみ子にわたすという主題につながる場面に目を向けていることが分かる。しかし、10年後の幸せに暮らす場面で、「ゆみ子はかわいそう」ととらえている子どももいる。そこで、時代背景やゆみ子に対して明るく強く成長してほしいと願う両親の思いを読み取らせるために、会話文や様子を表す言葉に着目させ、情景や登場人物の様子を考えさせていきたい。調査2から、発表に関しては、ずいぶん自分の考えを発表できるようにはなってきたが、自信のないことは発表しない子どももいる。普段の様子を見ても全体的に消極的である。調査3から、戦争に関しては、子どもたちは昨年「ちいちゃんのかげおくり」を学習したこともあり、戦争については大方のイメージをもっている。しかし、出征するため家族に別れを告げなければならぬ、国のために戦いに出なければならぬというような理解まではできていない。そこで、時代背景や出征する父親の家族に対する思い、残された家族の思いを読み取らせるために、場面の様子や登場人物の様子・言葉に着目させ、場面の移り変わりや情景を考えさせていきたい。</p>

#### (4) 指導に当たって

- ア 指導の重点化を図るために、指導内容の精選を図るとともに、両学年の指導内容を比較検討する。一方の子どもたちには、間接指導時においても自力で解決できるように手立てを考える。また、もう一方の学年の子どもたちに十分な個別指導ができるように学年の子どもたちへのかかわり方に軽重をつける指導方法の工夫を行う。また、**両学年の学習のねらいを達成するために、深める段階で教師が直接かかわる時間を生み出せるように指導過程に「ずらし」を行い、指導していきたい。**
- イ 間接指導時において、子どもたちが主体的に読み取るために、「わたる」前の直接指導で、学習内容や解決方法、解決の手順などを明確に伝えたり、一人一人の学習状況を確実に見取ったりしながら、それに応じた個別指導をしたい。また、**間接指導時に、子どもたちが自力で解決できるようなワークシートを工夫したり、短冊やホワイトボードなどを活用したりする。**
- ウ 間接指導時において、子どもたちが充実した学習活動が進められるように、ガイド学習を取り入れる。そのために、ガイド役と事前に学習の進め方について打ち合わせたり、授業中においても適宜助言を与えたりするなどして、学習が円滑に進むようにする。

- エ 戦時中の様子を理解させるために、単元に入る前に今まで読んだ本の中で戦争がテーマになっている作品について話し合わせたり、戦時中の写真などを見せたりしながら、戦争の悲惨さの一端を知らせ、自分たちの生活と比べさせたい。
- オ 叙述をもとに、場面の移り変わりや様子を想像して読めるようにするために、登場人物の行動や会話などに着目して、読み取らせるようにする。その際、キーワードを絞り込むことで、子どもたちが学習を進めやすいようにしたい。
- カ 読み取ったことをもとに、自分の感想をまとめ、友だちと感想を交流することで、戦争と平和や親の思いについてのそれぞれの考えを深めさせたい。また、自分の考えと友だちの考えとの共通点や相違点について話し合わせ、お互いの考えを認め合えるようにしたい。

- エ 戦時中の様子を理解させるために、単元に入る前に3年時に学習した「ちいちゃんのかげおくり」を想起させたり、戦時中の写真などを見せたりしながら、戦争の悲惨さの一端を知らせ、自分たちの生活と比べさせたい。
- オ 叙述をもとに、場面の移り変わりや様子を想像して読めるようにするために、登場人物の行動や会話などに着目させる。また、題名にも着目させ、「一つの花」に作者の思いや願いが入っていることも読み取らせたい。

### 3 単元の目標

- |  |   |
|--|---|
| <p>(1) 場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むことができる。(読ウ)</p> <p>(2) 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。(読エ)</p> <p>(3) 書かれている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読むことができる。(読カ)</p> | <p>(1) 登場人物の様子と場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気を付けて想像しながら読むことができる。(読ウ)</p> <p>(2) 題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えをもち、友達の考えと比べることができる。(読エ)</p> |
|--|---|

### 4 指導計画

< 第3学年：全11時間 >

< 第4学年：全11時間 >

指導上の留意点	主な学習活動	指導の傾斜	主な学習活動	指導上の留意点
<p>教材文に興味・関心をもたせるために、戦争に関する本で読んだことのあるものについて発表させる。</p> <p>写真などを見せながら、戦争によってたくさんの人の命が奪われてしまったことを理解させる。</p>	<p>1 戦争がテーマになっている作品について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで読んだことのあるお話のあらすじを発表する。</li> <li>・ 戦争についておおまかに知る。</li> </ul>		<p>1 戦争がテーマになっている作品について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ちいちゃんのかげおくり」を学習したことを想起させる。</li> </ul> <p>2 全文を通読し、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 教材文を読み、初発の感想を書く。</p>	<p>教材文に興味・関心をもたせるために、戦争に関する既習の教材文を想起させる。</p> <p>「一つの花」の一読後、登場人物の様子に着目させながら、場面ごとの感想を書かせる。</p>

<p>「ちいちゃんのかげおくり」の一読後、登場人物の様子に着目させながら、場面ごとの感想を書かせる。</p> <p>確実な定着を図るために書き順や止め、はね、はらいなどの細かいところまでおさえて書かせる。</p>	<p>2 全文を通読し、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 教材文を読み、初発の感想を書く。</p> <p>(2) 新出漢字を確認し、練習をする。</p>		<p>(2) 前時に書いた感想の交流をする。</p> <p>(3) 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>(4) 学習のめあてを決め、学習計画を立てる。</p> <div data-bbox="1196 402 1659 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>読み取ったことをもとに、十年後のゆみ子に手紙を書こう。</p> </div>	<p>主体的に読み取らせるために、これからの学習に対する目的意識をもたせるとともに、初発の感想をもとに学習課題を作らせ、学習計画を立てさせる。</p> <p>一人一人が考えた課題を大切にするために、課題を短冊に書かせ、黒板で仲間分けをして、共通の課題を設定させる。</p>
<p>主体的に読み取らせるために、これからの学習に対する目的意識をもたせるとともに、初発の感想をもとに学習課題を作らせ、学習計画を立てさせる。</p> <p>一人一人が考えた課題を大切にさせるために、課題を短冊に書かせ、黒板で仲間分けをして共通の課題を設定させる。</p>	<p>(3) 前時に書いた感想の交流をする。</p> <p>(4) 単元名とリード文を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>(5) 学習のめあてを決め、学習計画を立てる。</p> <div data-bbox="562 836 1010 967" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ちいちゃんの家族への思いがそうぞうできるような「音読発表会」をしよう。</p> </div>		<p>(5) 新出漢字を確認し、練習をする。</p> <p>3 場面ごとに、場面の移り変わりや登場人物の様子が表れている会話や行動を見つけ、そこに書かれていない思いや願いを読み取る。</p> <div data-bbox="1189 1058 1675 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ゆみ子はどうして、「ひとつだけちょうだい。」という言葉を最初に覚えたのだろうか。(場面1)</p> </div>	<p>確実な定着を図るために書き順や止め、はね、はらいなどの細かいところまでおさえて書かせる。</p> <p>配給の意味や戦争の激しいころの生活の様子を説明し、食糧不足の事実について理解させる。</p> <p>食べ物がなく、貧しい状況であることをつかませるために「～だの、～だの」という言葉に着目させる。</p>
<p>それぞれの登場人物の様子を想像させるために、家族四人でかげおくりをする場面を役割分担して、声の重なりを意識した音読をさせる。</p>	<p>3 場面ごとに、場面の移り変わりや登場人物の様子を、叙述をもとにしながら読み取る。</p> <div data-bbox="562 1369 1025 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かげおくりをする4人の気持ちはどんな気持ちだろう。(場面1)</p> </div>		<div data-bbox="1189 1273 1675 1398" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お父さんはなぜ、ゆみ子をめちゃくちゃに高い高いするのだろうか。(場面2)</p> </div>	<p>お父さんのゆみ子を心配する様子を読み取らせるために、「めちゃくちゃに」という言葉に着目させる。</p>

<p>戦争の悲惨さや混乱の様子をつかませるために「ほのうのうずが追いかけて」「たくさんの人に追いぬかれたり、ぶつかったり」という言葉に着目させる。</p>	<p>ちいちゃんは どうして一人ぼっちになってしまったのだろうか。 (場面2)</p>	<p>お父さんが戦争に行く日、家族はどんな思いだったのだろうか。 (場面3)</p>	<p>駅のにぎやかな別れとプラットホームのはしでの静かな別れを対比させることにより、出征に対する両親の様子を考えさせる。</p>
<p>ちいちゃんの家族に対する思いを読み取らせるために「深くうなずきました」という言葉に着目させ、なぜ家から離れなかったのかを考えさせる。 【指導内容の重点化】</p>	<p>ちいちゃんはなぜ、家からはなれなかったのだろうか。 (場面3)</p>	<p>お父さんがゆみ子にわたしたコスモスには、どんな思いがこめられているのだろうか。 (場面4)</p>	<p>強くたくましく生きてほしいという父の願いをつかませるために「はしっぱ」「ごみすて場の」という言葉に着目させ、父のゆみ子への思いを考えさせる。 【指導内容の重点化】</p>
<p>二つのかげおくりを比較することで、家族の絆を読み取らせる。 「小さな女の子の命」についても考えさせる。</p>	<p>ちいちゃんはなぜ、一人でかけおくりをしたのだろうか。 (場面4)</p>	<p>十年後のゆみ子の生活はどうなったのだろうか。 (場面5)</p>	<p>十年後のゆみ子の幸せそうな様子を戦争中の場面と比べながら読ませ、ゆみ子の成長を考えさせる。</p>
<p>戦争の悲惨さ、家族の大切さを実感させるために、読後の感想を発表させ、今の時代と戦争時代とを比較させる。</p>	<p>4 読後の感想を発表し合う。 ・ 1～4の場面と5の場面を比べることで、題名の意味や作者の願いを考える。</p>	<p>4 題名について話し合う。 ・ 作品の中でくりかえし出てくる大事な言葉や題名について考え、作者の願いを考える。</p>	<p>題名「一つの花」に作者の思いや願いが込められていることに気付かせ、作者の作品に対する思いを深めさせる。</p>
<p>学習を振り返らせるために、一番心に残った場面を選ばせ、音読させる。その際どんどころに気を付けて音読したかを言えるようにさせる。</p>	<p>5 音読発表会の練習をする。</p>	<p>5 十年後のゆみ子に手紙を書く。</p>	<p>今までの学習を振り返らせ、「一つだけ」をくり返していた頃のゆみ子と十年後のゆみ子と比較させて、書かせるようにする。</p>
<p>お互いの音読のよさを相互評価させるために、音読の評価の観点をみんなで話し合い、決めさせてから音読発表会を行わせる。</p>	<p>6 音読発表会を開く。</p>	<p>6 手紙とともに、読後の感想を発表する。</p>	<p>自分の心の成長を再確認させるために、初発の感想で書いたことと、読後の感想で書いたものを比較させ感じたことや思ったことを発表させる。</p>

5 本時(3年 7/11 4年 7/11)

(1) 目標

ちいちゃんの様子や会話に着目しながら、ちいちゃんの家族に対する思いや願いを想像し、読み取ることができる。

父の行動や会話・コスモスの様子に着目しながら、ゆみ子に対する父の思いや願いを想像し、読み取ることができる。



(2) 指導に当たって

ア 3年生は、3の場面の読み取りについては、前時の活動と同じ流れで読み取る学習であるので、読みの視点の1つに重点を置くことで自力解決することができる。4年生は、物語の中心に迫る場面の読み取りであるため、深める段階では、教師が直接関わる時間を多くとるようにしたい。そこで、**両学年の学習のねらいを達成するために指導過程に「ずらし」を行い**、深める段階では、教師が直接かかわる時間を多くとるようにしたい。3年生は、前時まで次時の学習課題と学習の進め方まで確認し、本時は、調べる活動から始められるようにする。その際、読み取りの視点と学習の手順を再度確認し、見通しをもって主体的に学習が進められるようにしたい。4年生は、情景を手がかりに父のゆみ子への思いを想像しながら読み取り、物語の中心に迫りたい。

イ 間接指導時に、子どもたちが主体的に読み取っていくために、「わたる」前の直接指導時に、学習内容や解決の見通しをしっかりと把握させた上で、その内容を小黒板にまとめ、掲示したり、個々の学習状況を確実に見取る観点を明確にし、それに応じた個別指導を行ったりする。また、**直接指導時においても、ワークシートや短冊の活用など、子どもたちが自力で解決できるような手だてを工夫したい。**

ウ 両学年ともにガイド学習を位置付け、ガイド役には、事前に学習の進め方を指導しておきたい。また、授業中においても、子どもたちの学習状況に応じて、ガイド役には、指名する子どもや話し合いの内容などを伝え、効果的な学習が進められるようにしていきたい。

エ ちいちゃんの家族に対する思いを読み取らせるために、繰り返される表現に着目させ、繰り返されている意味や効果について考えさせたい。また叙述から読み取ったちいちゃんの様子をまとめさせることで、ちいちゃんの家族への再会の願いの強さを感じ取らせたい。

オ 異学年で学ぶよさを生かすために、本時の学習で学習したことを相互に交流させ、どちらも登場人物の気持ちを読み取って音読するという点で共通の学習活動をしているという一体感をもたせ、共に学び合おうとする態度を育てていきたい。

エ コスモスをゆみ子に手渡して戦争に行く父の思いや願いを読み取らせるために、父の行動や会話・コスモスの様子を表す叙述に着目させ、ゆみ子に強くたくましく、そして幸せに生きてほしいと願う父の思いを感じ取らせたい。

(3) 展開 [ :留意点, :授業充実の3ポイント, :考えを確かにする場面, :評価, :資料 ]

指導上の留意点	主な学習活動(第3学年)	過程	位置/時間	過程	主な学習活動(第4学年)	指導上の留意点
次時の学習範囲の確認と音読, 学習の進め方を確認させる。 (目標の明確化)	1 次時の学習のめあてを確認する。 (1) 次時の学習範囲を音読する。 (2) 次時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ちいちゃんはなぜ、家からはなれなかったのだろうか。</div>	つかむ		たしかめる	<b>【前時の学習活動】</b> 6 お父さんとお母さんの思いを考えて音読をする。 ・ 悲しみをこらえ明るくふるまっている父母の様子が分かるように音読する。	お父さんとお母さんの思いがよく伝わるように情景の読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)
次時の学習の進め方を確認しておく。 学習の進め方を小黒板にまとめ、掲示する。	2 学習の進め方を確認する。 ちいちゃんの様子や言ったことにサイドラインを引く。 ちいちゃんの様子をワークシートにまとめる。 はなれなかったわけを考え、短冊に記入し、掲示する。 ちいちゃんが家からはなれなかったわけを発表する。	見通す				

<p>本時の学習の進め方を再度確認する。</p> <p>学習の進め方を小黒板にまとめ、掲示する。</p> <p>ちいちゃんのはなれなかったわけを考えさせるために、ちいちゃんが深くうなずく様子に着目させる。 <b>(考えをつくる場)</b></p> <p>ガイドの進行で(3)まで学習を進める。早くすんだら(4)の活動をする。</p>	<p>3 はぐれてしまったちいちゃんの様子を考える。</p> <p>(1) ちいちゃんの様子や言ったことにサイドラインを引く。</p> <p>(2) ラインを引いた部分を参考にワークシートに記入する。</p> <p>(3) ちいちゃんの様子や言ったことから、はなれなかったわけを考え、短冊に記入し、黒板に掲示する。</p> <p>(4) ちいちゃんが家からはなれなかったわけを発表し合う。</p>	調べる	つかむ	<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時の学習課題を想起する。</p> <p>(2) 本時の学習範囲を音読する。</p> <p>(3) 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お父さんがゆみ子にわたしたコスモスには、どんな思いがこめられているのだろうか。</p> </div>	<p>本時の学習につなげるために、前時の学習について想起させる。</p> <p>ガイドの進行で学習範囲の音読と学習課題の確認をする。 <b>(目標の明確化)</b></p>
<p>読み取りを深めるために、家からはなれなかったわけが、ちいちゃんの様子や言ったこととどのようなつながりをもっているか考えさせる。 <b>(考えを交流させる場)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価と手だて】</b> ちいちゃんの様子や言ったことにサイドラインを引き、叙述に即して読んでいるか。</p> <p>戸惑っている子どもがいたら、教師がやり方を示して取り组ませるようにする。</p> </div> <p>自分の考えと友達の考えを比べるために、似ているところ・違うところを話し合わせる。</p>	<p>4 読み取ったことをもとに、はぐれてしまったちいちゃんの様子について考える。</p> <p>(1) ちいちゃんの様子や言ったことについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;">ちいちゃんの様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なくのをやっところえて言いました</li> <li>・深くうなずきました</li> <li>・また深くうなずきました</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">ちいちゃんの言ったこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おうちのとこ。」</li> <li>・「ここがお兄ちゃんとあたしの部屋。」</li> <li>・「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きつと帰ってくるよ。」</li> </ul> </div> <p>(2) ちいちゃんの様子から家からはなれなかったわけを考え、発表し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母ちゃんとお兄ちゃんはこの家に帰ってくるとしんじているから</li> </ul> </div>	深める	見通す	<p>2 学習の進め方を確認する。 コスモスの様子やお父さんの様子にサイドラインを引く。 コスモスの花・お父さんの様子をワークシートにまとめる。 お父さんのゆみ子への思いを考え、短冊に記入し掲示する。 どんな思いをこめて一輪のコスモスを渡したか発表する。</p> <p>3 一輪のコスモスをわたすお父さんの思いを考える。</p> <p>(1) コスモスの花・お父さんの言動をワークシートにまとめる。</p> <p>(2) お父さんの思いを短冊に書いて、掲示する。</p> <p>4 読み取ったことをもとに、一輪のコスモスをわたすお父さんの思いを考える。</p> <p>(1) コスモスの花やお父さんの様子について考える。</p> <p style="text-align: center;">コスモスの花</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、わすれられたようにさいていた</p> </div> <p style="text-align: center;">お父さんの言ったこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう。」</li> </ul> </div> <p>(2) ゆみ子に一輪のコスモスをわたすお父さんのゆみ子への思いを考え、発表し合う。</p>	<p>本時の学習の進め方を確認する。</p> <p>学習の進め方を小黒板にまとめ、提示する。</p> <p>お父さんのゆみ子に対する思いを考えさせるために、コスモスの咲いている場所や様子、お父さんの言動に着目させる。 <b>(考えをつくる場)</b></p> <p>読み取りを深めるために、お父さんの思いが、コスモスの花の様子とどのようなつながりをもっているか考えさせる。 <b>(考えを交流させる場)</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価と手だて】</b> コスモスの様子やお父さんの言ったことにサイドラインを引き、叙述に即して読んでいるか。</p> <p>戸惑っている子どもがいたら、教師がやり方を示して取り组ませるようにする。</p> </div>

<p>ちいちゃんのはなれなかったわけが本文のどの部分から分かるのかも考えさせたい。 (山場の工夫)</p>	<p>・またお兄ちゃんとかげおくりをして遊びたいから。</p> <p>板書を構造化する。 ワークシートとの一体化。</p>			<p>・このコスモスのように強くたくましく明るく生きていくんだよ。 ・お母さんと一緒に幸せにくらすんだよ ・元気に大きくなるんだよ。</p>	<p>自分の考えと友達の考えを比べるために、共通点や相違点を話し合わせる。お父さんのゆみ子に対する思いを読み取るために情景にも着目させる。 (山場の工夫)</p>
<p>【評価と手だて】 ちいちゃんの様子を表す言葉と、はなれなかったわけのつながりを考えながら読み取ることができたか。 戸惑っている子どもには、ちいちゃんが深くうなずく様子を動作化させ、考えを深めさせる。</p>	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>ちいちゃんはお母さんやお兄ちゃんがきっと帰ってくるとしんじていたから家からはなれなかった。</p>	<p>ま と め る</p>	<p>ま と め る</p>	<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>お父さんは、ゆみ子がたくましく明るく生きてくれることを願って、一輪のコスモスをわたした。</p>	<p>【評価と手だて】 コスモスの花やお父さんの様子を表す言葉と、ゆみ子に対する思いのつながりを考えながら読み取ることができたか。 戸惑っている子どもには、コスモスがどんな場所に咲いていたかを考えさせる。</p>
<p>家族がきっと帰ってくると信じている様子やひとりぼっちで心細い様子がよく分かるように、会話文などの読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)</p> <p>次時の学習範囲の確認と音読、学習の進め方を確認させる。 (目標の明確化)</p>	<p>6 ちいちゃんのはなれなかったわけを考えて音読する。</p> <p>・ちいちゃんの様子や言ったことはなれなかったわけのつながりを想像しながら音読する。</p> <p>7 次時の学習のめあてを確認する。 (1) 次時の学習範囲を音読する。 (2) 次時の学習課題を確認する。</p> <p>ちいちゃんは何で、一人でかげおくりをしたのだろうか。</p>	<p>確 か め る</p>	<p>確 か め る</p>	<p>6 お父さんのゆみ子に対する思いを考えて音読する。</p> <p>・お父さんのゆみ子へ対する思いが伝わるように、音読する。</p>	<p>ゆみ子を思うお父さんの気持ちがよく伝わるように、会話文などの読み方を考えさせ工夫しながら読ませる。 (確かめ・見届け)</p>
<p>異学年で学ぶよさを生かすために、学習の成果を4年生に知らせたり、4年生の学習の成果を聞いたりして学習の成果を認め合えるようにする。</p>	<p>本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。</p>				<p>異学年で学ぶよさを生かすために、学習の成果を3年生に知らせたり、3年生の学習の成果を聞いたりして学習の成果を認め合えるようにする。</p>



